

# ぐるっと まにわ **真庭** まちの話題

## 自転車の新しい楽しみ方 真庭で散走サイクリング2018



勝山の町並みを楽しみながらゆったりとサイクリング



途中「木テラス」で休憩



旧遷喬尋常小学校から出発

4月30日、自転車でゆつたりと走りながら真庭の魅力を体験する『真庭で散走サイクリング2018・発酵散走』が行われました。歴史ある勝山・久世の町並みを巡るコースに、県外からのリピーターも参加。勝山から久世の旭川沿いの景観を楽しみながら自転車でゆつくりと移動し、老舗の酢味噌醤油蔵や酒蔵を見学したり、旧遷喬尋常小学校でなつかしの学校給食を食べたりして、自転車の新たな楽しみ方と真庭の魅力を満喫していました。

4月25日、先進的な取り組みや工夫のある活動を行っている集落に地域づくりのヒントを学ぶ集落間の学び合い研修会が開かれました。研修会では二川ふれあい地域づくり委員会による特産品の発送、デイサービスといった取り組み発表や、真庭に移り住んだ4人による実体験に基づいたトークセッションなどが行われました。参加した県内の集落や行政の関係者は地域での活動の参考にしようと、聞き入っていました。

## 中山間の地域づくりを学ぶ 集落間の学び合い研修会



移住してきた人の生の声を興味深そうに聞く参加者



風船が欲しい子どもたちで賑やかに

4月21日、二川こうふく村で交流キャラバンイベントの『やまびこマーケット×二川さくらマーケット』が開かれました。やまびこマーケットは真庭市内を巡りながら各地域で開かれるイベントとタッグを組み、特産品の販売や地域で活動する団体の紹介などを行っています。今回は初めて開かれる二川さくらマーケットと共同で開催し、31のブースが出店。地域の人や訪れた人、出店者らが交流を深めました。

共同開催に大賑わい  
やまびこ×二川さくらマーケット

## 4/22 後継者を求めて車夫体験

勝山町並み保存地区で16年人力車を引いてきた松本高明さんが後継者探しの一環で無料車夫体験を実施しました。この日体験をした荻野杜志春さんは、引き方などの手解きを受けながら乗客を運んでいました。



## 4/26 新たな体制で地域を守ろう

上水田地域で福祉活動を行っている2団体が合併し、設立総会が開かれました。今後は上水田ふれあい助けあい隊として、助けを必要とする人たちを見守りながら、安心して暮らせる地域づくりを目指します。



## 4/27 安心して集える場所に

落合垂水にあるゆーまにわのキャンパスでママさん会が開かれました。学生だけでなく様々な世代の人がキャンパスを活用できないかという試み。子連れでも安心して情報交換できる場所になりそうです。



## 4/28 絵本のパンを親子で手作り

本に親しみを持ってもらおうと、絵本「からすのパンやさん」に出てくるパンを実際に親子で作って楽しむ催しが開かれました。参加者は読み聞かせでイメージを膨らませ、思い思いの形にパンをこねていました。



## 4/29 花も団子も満喫!春まつり

シャクナゲが満開となった田原山上の普門寺とその周辺で「花の山寺 春まつり」が行われました。期間中は地元でとれた山菜の天ぷらが添えられたそばなどが販売され、訪れた人たちが春の味を堪能していました。



漆の枝を煮て出汁をとった「漆鶏湯(オッケタン)」

5月12日、蒜山富山根の櫻庵で「漆ヲ食ス会」が開かれ、県内外から29人が参加しました。漆の新芽の天ぷらや、体を温める効果があるといわれている韓国料理「オッケタン」などのか、食後には漆の実を入れたコーヒーもあり、参加者は初めて口にする料理を楽しみました。会を主催した「マニワザ」は工芸の維持などを目的に活動する団体で、蒜山の漆を知つてもらい、郷原漆器の普及につなげたいとしています。

**食べて漆の認知度向上  
マニワザ「プレゼンツ「漆ヲ食ス会」**



摘み取ったお茶の葉を嬉しそうに眺めるお茶娘

5月20日、第15回富原お茶まつりが開かれました。会場の富原小学校グラウンドには、新茶をはじめとするお茶製品のほか、手作りコンニャクやアゲ寿司などさまざまな食べ物が並びました。また、昔ながらの茶摘みや製茶などを訪れた人が体験し、富原のお茶に親しんでいました。実行委員長の福富正明さんは、「近年では親子連れの来場者が多く、若い人们にもお茶について知つてもらえて嬉しいです。」と話していました。

**富原の茶と地域の味満喫  
第15回富原お茶まつり**